

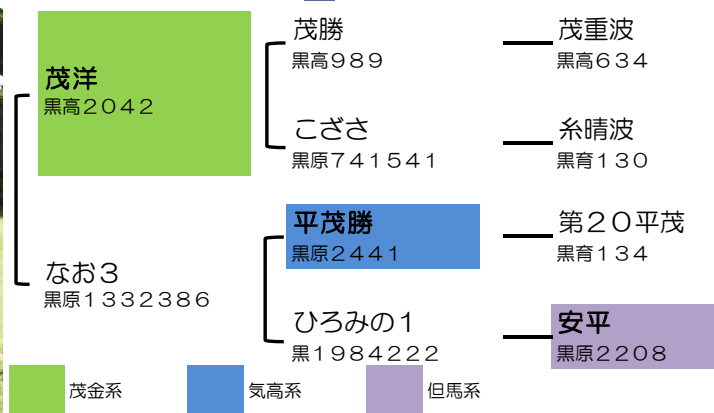
# 熊本県で開発した新技術

熊本県農業研究センター

2022

しげぞう

## 黒毛和種種雄牛「茂三」の選抜



### 問 研究のねらいは？

答 全国に通用する優良な県産種雄牛の作出が期待されており、牛肉の生産性・品質向上を図るため、優秀な種雄牛を選抜しました。

### 問 本牛の特徴は？

答 本牛は、脂肪交雑(BMSNo.)の育種価が県内1位であった「なお3」に質量兼備の名牛「茂洋」を交配し、畜産研究所で胚移植により作出しました。検定成績では枝肉重量、ロース芯面積、ばらの厚さ、脂肪交雑が歴代トップクラスであり、全国的にも希少な茂金系の種雄牛として活躍が期待されます。

### 【現場後代検定成績】

(単位:kg、cm<sup>2</sup>、cm)

頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積	ばらの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	肉質等級(4等級以上)
去勢 9 頭	28.3	532.2	71.7	8.6	3.2	74.9	8.67	88.9% (8/9)
雌 5 頭	28.7	485.5	67.6	8.0	3.3	74.5	7.00	80.0% (4/5)

### 【産子の枝肉】



性別	去勢
枝重	551kg
ロース	75cm <sup>2</sup>
バラ厚	8.7cm
BMSNo.	11
等級	A-5

形質	程度	-1	0	1	2	3	4	程度	SBV
枝肉重量	小さい							大きい	2.63
ロース芯面積	小さい							大きい	2.92
ばらの厚さ	薄い							厚い	1.47
皮下脂肪	厚い							薄い	-2.72
脂肪交雑	少ない							多い	2.16

### 標準化育種価(SBV)とは？

各形質の育種価を同一スケール上で比較したもの。値が+1以上の場合、改良効果が高い。

畜産研究所 生産基礎技術研究室